

Monthly Repo. ならやま

八木 順一

2月24日(金)振り替え活動 晴れ 46名+2名

真冬に戻ったような気候だ。まだまだ春は遠い、と実感する。また、活動が延期されたり、中止されたりする回数が今年になって増え、本日も参加者が少ない。打ち合わせでは、明日のシイタケイベントに向けての参加体制の確認や準備、その他、本日からの交通費補助金支給などの連絡が改めて行われる。里山Gはイベントの準備や枯れた松の伐採、エコGはジャガイモの畝作り、そして景観Gは実りの森でのチップ作業と目白押し。また、ビオ班はドジョウ池の泥入れ、花班は花の移植、パト班は観察路の階段補修とこちらも忙しい作業に忙殺される。

3月3日(金)振り替え活動 晴れ 45名+2名

振り替え活動日のためか参加者が少ない。そのため予定し

ていた溝の大掃除の協働作業も来週に延期。里山Gはシイタケの菌



打ち、エコGはビニールハウスへの牛糞堆肥、景観Gは実りの森での植樹を中心に取り組む。また、ビオ班は池の水抜きを、花班は柵作りや花の寒肥やりを、そしてパト班はミーティングのほかに倒木処理に時間を使う。果樹班からは、来週梅の木に人工授粉を行うことが連絡される。交通費の支給や会費の徴収、その他林野庁関係の事務処理のために、てんやわんやの忙しさにも見舞われる。打ち合わせでは、ニホンミツバチの巣箱の設置場所が紹介される(水田の北側の斜面)。本日から新入会員1名参加。

3月9日(木)活動 晴れ 63名+5名

協働作業日。東池からの水路から枯れた草などを全員で除去。しかし、水路の土止めの壁もかなり傷み、補修も必要か。

生き物が暮らしやすい環境にするためには、何が大切かを考えることが必要だ。打ち合わせでは協働作業の



段取りや、施設の施錠の確認はしっかりして欲しいといった依頼などに加え、

間近に迫った新入会員歓迎会の予告連絡があった。今年はシニア大からは8名の新入会員を数えるとのこと。早く自然の会になじんで、戦力になって欲しいものだ。各Gでは植樹やイモの植え付け、そしてサイトの整理などの作業も順調に捗る。また、その他の班は生物調査や花の植え替え、パトロールや梅の人工授粉に取り組む。いよいよ春も本番を迎える。

3月16日(木)活動 晴れ 65名+1名

3月も半ばを迎え、サイトの桜の蕾も膨らんできたが、まだまだ寒い。しかし、参加者は多数を数え、春本番に向けて、畑や里山、そして散策路



など、ならやまのあちこちで作業に汗を流す。里山G

は入口附近での植樹、エコGは春野菜の種まき、景観Gは彩りの森の草刈りに取り組む。また、ビオ班は池の整備、花班は施肥や霜よけ除去、パト班はパトロールや観察路の清掃に時間を使う。打ち合わせでは新入会員歓迎会や4月のイベントの紹介・参加要請が主なものになった。